



科学技術分野の文部科学大臣表彰の創意工夫功労者賞を受賞した小坂製錬の黒沢さん(右) (県庁)

科学技術分野の文科大臣表彰

小坂製錬の黒沢さんに

金属資源のリサイクルなどを行っている小坂製錬(小坂町)で設備保全を担当している黒沢匠さん(25)が、科学技術に関する研究開発や業務改善の取り組みで顕著な成果を上げた民間企業の技術者に贈られる「科学技術分野の文部科学大臣表彰」の創意工夫功労者賞に選ばれた。19日に県庁で伝達式が行われ、猿田和三副知事から賞状と記念品が贈られた。

科学技術に関する業務に携わる人たちの意欲を高め、国の科学技術水準の向上を図ることを目的にした表彰制度。

科学技術、若手科学者、研究支援、創意工夫功労者の4賞があり、黒沢さんは鉱工や農林水産、建設などに勤務する人が対象となる創意工夫功労者賞に選出された。23年度は全国で480人が受賞、本県からは黒沢さんを含めて6人が選ばれている。

黒沢さんは生産技術部に所属し設備のメンテナンスなどを担当。金属をリサイクルする過程で使われる乾燥機について、物質の付着による故障を防止するための改良を実施。故障の要因を取り除くことに成功し、長時間の操業停止を余儀なくされていたトラブルを撲滅したことが評価された。

伝達式で猿田副知事は「皆さんの日頃の努力と、事業の推進に向けた会社の姿勢があったからこそこの受賞。本県産業が抱える人手不足の解消や若年者の帰郷にもつながる」などと述べ、取り組みをたたえた。黒沢さんは「年に1回の点検時にしか確認できず不安もあったが、改善の効果が表れ、安心した。これからも保全と改善に日々努めていきたい」と話していた。

黒沢さん以外の本県からの受賞者は、JR東日本テクノロジィ秋田支店の大竹義昭さん、秋田製錬の村木博紀さん、保坂智也さん、佐藤孝大さん、河野光学レンズ秋田工場の米田久男さん。